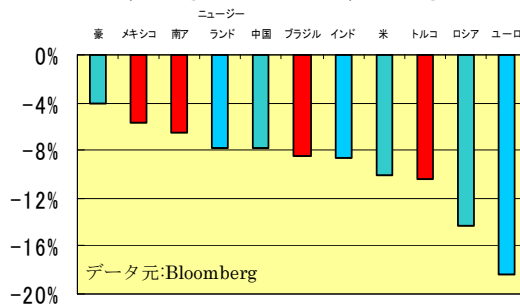




エマージング通貨の対円年初来騰落率 10年1月1日～10年11月30日



直近の動向

11月は、好調な米経済指標や米金利の上昇でドルが買われた。また、アイルランドやボルトガルによるユーロ圏の債務問題への懸念がユーロを圧迫したこともドル買いを活発化させた。21日にアイルランドがIMF、EUに対して金融支援を要請したことや同日発表の米経済指標が好調だったことで米景気の先行き懸念やユーロ圏の信用不安が緩和、リスク選好の動きとなり、為替市場では円が全面安となった。ドルは対円で月初から月末にかけ約4%上昇、26日に2ヶ月ぶりの84円台を回復。新興国通貨の多くは対円で上昇したが、トルコなどのユーロ圏の影響が強い国は軟調な動きとなった。

ブラジル



10月失業率が、政府の集計始めて以来最低の6.1%となり、5ヶ月連続の低下。小売売上高が事前予想を上回る前年比+11.8%と堅調な内需が示された。ルセフ次期大統領が新政権人事の一部を発表。財務相や中銀総裁など、現在要職についている人物が引き続き政策に関与することから現政権の政策は概ね引き継がれると見られているが、中銀の独立性や財政、インフレを懸念する声も出ている。

南アフリカ



18日に政策金利を5.50%に引下げ、23日に7～9月期実質GDPが前期比年率+2.6%と予想を下回る結果となった。対ドルで通貨ランドが高止まりしているため、輸出が低迷、特に自動車関連が振るわなかったが、通貨高によりインフレ率が低水準に抑えられており、W杯後の経済の失速の下支えのため、金利を引下げた。通貨高は引き続き懸念事項であるが、為替介入には積極的でない姿勢が見える。

トルコ

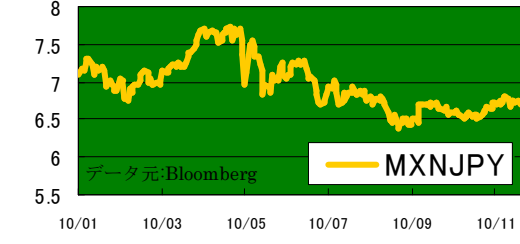
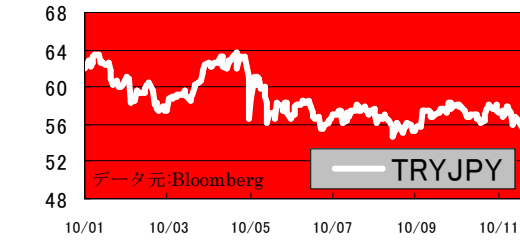
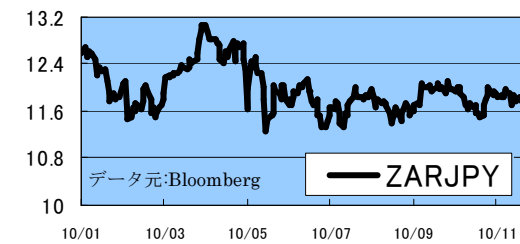
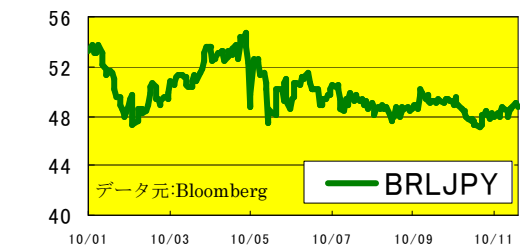


11日に政策金利を7.00%に据え置き。しかし、オーバーナイト借入金利（中央銀行が民間からお金を借りる際の金利）を大幅に引下げ1.75%とした。中銀総裁は、海外資金流入の増加は金融安定性の観点から問題を引き起こす可能性があり、短期金利を引下げることでも長期的な資金の滞留を促し、金融安定性を高めることが目的であり、昨年同様に膨らんでいる経常赤字対策でもあるとした。

メキシコ



26日に政策金利を4.50%に据え置き。23日発表の第3四半期実質GDPが前年同期比+5.3%と3期連続のプラス成長。自動車産業を中心とする輸出製造業が経済を牽引。内需は明るい兆しも見えるが依然として緩慢。米国の輸入におけるメキシコのシェアは中国と競合しているが、地理的な問題や原油産出国であることから、輸送費等のコスト面で有利であり、今後シェアが拡大する可能性がある。



為替レート見通し

対円 (JPY)	10/12	11/03	11/06	11/12
米ドル (USD)	84	84	85	87
ブラジルリアル (BRL)	49	49	51	52
南ア・ランド (ZAR)	11.9	12.2	12.2	12.3
トルコリラ (TRY)	56	56	58	58
メキシコペソ (MXN)	6.78	6.83	6.88	6.96



この資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とした2010年12月1日現在の当社の意見になります。また、当社が信頼できると考える情報源から得たデータに基づき作成しておりますが、その情報の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。

店舗案内

本社 :
東京都中央区新川
一丁目21番2号
茅場町タワー
TEL: 03-5541-9208

京都支店 :
京都市中京区烏丸通
錦小路上ル手洗水町
659番地 烏丸中央ビル
TEL: 075-222-1001

大阪支店 :
大阪市中央区南船場
一丁目18番17号
商工中金船場ビル
TEL: 06-4705-6701

名古屋支店 :
名古屋市中村区名駅
三丁目22番8号
大東海ビル
TEL: 052-564-0051

札幌支店 :
札幌市中央区
北一条西二丁目1番地
札幌時計台ビル
TEL: 011-221-1375

越谷支店 :
埼玉県越谷市赤山本町
2番14号
越谷駅西口TRビル
TEL: 048-967-6011

宝塚支店 :
兵庫県宝塚市逆瀬川
一丁目11番1号
アピア2
TEL: 0797-77-7751